

# 鎌倉文学館みどころマップ

## 鎌倉文学館の歴史

鎌倉文学館の本館と敷地は、加賀百万石の藩主で知られる前田利家の系譜、旧前田侯爵家の鎌倉別邸でした。

明治 23 年頃、第 15 代当主前田利嗣氏が土地を手に入れ、和風の建物を建てたことに始まります。しかし明治 43 年、長谷一帯を襲った火災により焼失、後に洋風に再建されます。さらに第 16 代当主前田利為氏が全面改築を行い、昭和 11 年、今に残る西洋館が完成しました。

明治時代には、当時皇太子であった大正天皇をはじめ皇族の人々が訪れ、戦後には、デンマーク公使や佐藤栄作元首相が別荘として借りています。また、三島由紀夫は小説「春の雪」に登場する別荘を、鎌倉別邸をモデルに書きました。

昭和 58 年、第 17 代当主前田利建氏より建物が鎌倉市に寄贈され、本館内部を補修・増改築、収蔵庫を新しく建て、昭和 60 年に鎌倉文学館として開館しました。

## 建物のココが見どころ

建物は、洋風と和風が混在する独特なデザインになっています。ハーフティンバーという建築様式を基調とし、半六角形の張り出し窓や半円形欄間の飾り窓、ベランダの手摺などに洋風デザインを取り入れています。一方、切妻屋根と深い軒出などに和風デザインが見られます。

内部全体は洋風のアールデコの様式ですが、随所に和風様式が取り入れられています。照明やステンドグラスがすべて違うデザインになっているのも見どころです。展示をご覧になりながら、歴史ある建物もお楽しみください。

＜別邸として使用されていた頃の各部屋の使用法＞

常設展示室 1…居間兼客間	常設展示室 2…食堂
常設展示室 3…配膳室	常設展示室 4…寝室

- 部分…大理石を使用した暖炉
- ★部分…モザイク模様の寄せ木貼りの床
- 部分…ステンドグラス

※館内の撮影はご遠慮ください。

